

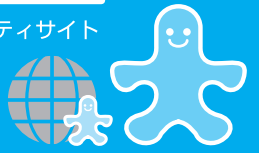
協力隊かわら版

帰国隊員の方へ

帰国隊員と地域社会をつなぐコミュニティサイト
帰国後のあなたの活動を応援します！

JOCAネットコミュニティ

検索



平成 25 年 6 月 15 日発行

公益社団法人 青年海外協力協会 会長 金子 洋三

〒102-0082 東京都千代田区一番町 23 番地 3 日本生命一番町ビル5階

TEL : 03-6261-0261 FAX : 03-6261-0249

E-mail:kawaraban@joca.or.jp URL:http://www.joca.or.jp/

VOICE 若者よ、未知なるものへの憧れを抱け！

大野哲也 OB (S62-3 / パプアニューギニア / 体育)

隊員時代、パプアニューギニアでは仕事らしい仕事はほとんどなかった。だが、山奥で過ごした2年間の非日常生活はとにかく楽しかった。

私は現職参加だったので、帰国後は中学校の教員に復職した。しかし、パプアニューギニアで味わった破天荒な日常と、日本で繰り返されるありきたりの日常を比べてしまうと、「未知なるもの」への憧れが頂点に達した私は、退職することにした。

見たことのない世界を見るための方法として私が選んだのは、自転車による世界放浪だった。1993年から5年1カ月をかけて、北米・南米・ヨーロッパ・アフリカ・オーストラリアの五大大陸を走り、それらの最高峰に登頂し、

隊員時代、パプアニューギニアでは仕事らしい仕事はほとんどなかった。だが、山奥で過ごした2年間の非日常生活はとにかく楽しかった。

私は現職参加だったので、帰国後は中学校の教員に復職した。しかし、パプアニューギニアで味わった破天荒な日常と、日本で繰り返されるありきたりの日常を比べてしまうと、「未知なるもの」への憧れが頂点に達した私は、退職することにした。

旅を終えて、人間そのものに興味を抱いた私は、文化人類学を学ぶために大学院に入った。それから10余年、現在では文化人類学というレンズを通して人間を研究すること、そしてそれを教育現場で教えることが私の仕事となっている。

私の人生の転機になったのは、間違いなく青年海外協力隊で味わった異文化ショックだった。草の根の活動だからこそ、ツーリストや企業の駐在員では経験できない現地のナマの文化に触れることができたのだと今になって思う。ボランティア活動は、「する側」から「される側」への一方通行ではなく、双方向的で創発的な実践をもつてそれを理解した。

●おのおのつや
1961年生まれ。大学卒業後、中学校教員、青年海外協力隊を経て、自転車で世界を放浪する。帰国後は、大学院に入学して社会学や文化人類学を学ぶ。現在、桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教員。著書に『旅を生かせる人びと』『バックパッカーの人類学』（世界思想社）がある。

4月下旬、グアテマラのセイバル遺跡で紀元前1000年ごろに築かれた祭祀建築が発見され、マヤ文明の起源を約2000年さかのぼる大発見として話題になった。これを発見した国際調査チームに、アリゾナ大教授の猪俣健OB（S58・1・ホンジュラス・考古学）と、茨城大教授の青山和夫OB（S60・3・ホンジュラス・考古学）だ。2人はグアテマラ、アメリカ、スイス、フランス、カナダ、ロシアの研究者とともに多国籍チームを編成し、2005年から学際的

な調査を実施してきた。セイバル遺跡での発掘調査は、ハーバード大学に続き約40年ぶりとなる。これまで、紀元前800年以降に最初の公共祭祀建築が建てられたと考えられていたが、今回の大規模で層位的な発掘調査等によって、従来の学説よりも2000年ほど早く建設されたことが明らかに

経済成長の著しいアフリカ諸国は、いまや援助の受け手ではなくパートナーシップを築く国々へと大きく変貌している。しかし、政府や民間レベルで実施される青年交流事業はアジアや欧米が中心で、アフリカとの交流事業はほとんどない。そこでJOCAは、アフリカの青年をパートナーとして迎え、日本人々との交流を深めながら東日本大震災の復興事業に加わる「JOCA・AUCボランティア連携事業」を開始。3月に7人のアフリカ青年が来日して岩手県で活動してきた。5月31日、TICAD V公式サイドイベント

経済成長の著しいアフリカ諸国は、いまや援助の受け手ではなくパートナーシップを築く国々へと大きく変貌している。しかし、政府や民間レベルで実施される青年交流事業はアジアや欧米が中心で、アフリカとの交流事業はほとんどない。そこでJOCAは、アフリカの青年をパートナーとして迎え、日本人々との交流を深めながら東日本大震災の復興事業に加わる「JOCA・AUCボランティア連携事業」を開始。3月に7人のアフリカ青年が来日して岩手県で活動してきた。5月31日、TICAD V公式サイドイベント

経済成長の著しいアフリカ諸国は、いまや援助の受け手ではなくパートナーシップを築く国々へと大きく変貌している。しかし、政府や民間レベルで実施される青年交流事業はアジアや欧米が中心で、アフリカとの交流事業はほとんどない。そこでJOCAは、アフリカの青年をパートナーとして迎え、日本人々との交流を深めながら東日本大震災の復興事業に加わる「JOCA・AUCボランティア連携事業」を開始。3月に7人のアフリカ青年が来日して岩手県で活動してきた。5月31日、TICAD V公式サイドイベント

経済成長の著しいアフリカ諸国は、いまや援助の受け手ではなくパートナーシップを築く国々へと大きく変貌している。しかし、政府や民間レベルで実施される青年交流事業はアジアや欧米が中心で、アフリカとの交流事業はほとんどない。そこでJOCAは、アフリカの青年をパートナーとして迎え、日本人々との交流を深めながら東日本大震災の復興事業に加わる「JOCA・AUCボランティア連携事業」を開始。3月に7人のアフリカ青年が来日して岩手県で活動してきた。5月31日、TICAD V公式サイドイベント

経済成長の著しいアフリカ諸国は、いまや援助の受け手ではなくパートナーシップを築く国々へと大きく変貌している。しかし、政府や民間レベルで実施される青年交流事業はアジアや欧米が中心で、アフリカとの交流事業はほとんどない。そこでJOCAは、アフリカの青年をパートナーとして迎え、日本人々との交流を深めながら東日本大震災の復興事業に加わる「JOCA・AUCボランティア連携事業」を開始。3月に7人のアフリカ青年が来日して岩手県で活動してきた。5月31日、TICAD V公式サイドイベント

経済成長の著しいアフリカ諸国は、いまや援助の受け手ではなくパートナーシップを築く国々へと大きく変貌している。しかし、政府や民間レベルで実施される青年交流事業はアジアや欧米が中心で、アフリカとの交流事業はほとんどない。そこでJOCAは、アフリカの青年をパートナーとして迎え、日本人々との交流を深めながら東日本大震災の復興事業に加わる「JOCA・AUCボランティア連携事業」を開始。3月に7人のアフリカ青年が来日して岩手県で活動してきた。5月31日、TICAD V公式サイドイベント

経済成長の著しいアフリカ諸国は、いまや援助の受け手ではなくパートナーシップを築く国々へと大きく変貌している。しかし、政府や民間レベルで実施される青年交流事業はアジアや欧米が中心で、アフリカとの交流事業はほとんどない。そこでJOCAは、アフリカの青年をパートナーとして迎え、日本人々との交流を深めながら東日本大震災の復興事業に加わる「JOCA・AUCボランティア連携事業」を開始。3月に7人のアフリカ青年が来日して岩手県で活動してきた。5月31日、TICAD V公式サイドイベント

6月1日〜3日に横浜市で開催された第5回アフリカ開発会議（TICAD V）の公式サイドイベントで5月31日、青年海外協力協会（JOCA）は「JOCA・アフリカ連合委員会（AUC）ボランティア連携事業」の成果報告会を開催した。

その成果報告会を開催した。外務省の阿部俊子政務官は「未来を担う日本の子どもたちが、7人のアフリカの友人たちのおかげで、被災地がアフリカまでつながっている」と感動できたことは意義深い」と挨拶した。続いてAUCの人的資源・科学技術局アブドゥル・ハキム局長が、「将来のアフリカを指導していく若者に国際的なスキルを授けようという事業の中で、すでにアフリカ域内でボランティア活動を経験した7人が、今回日本に来てアフリカと日本の懸け橋となった。日本での学びをアフリカでも根付かせてほしい。また、当事業が日本とアフリカの双方向型事業として、今後も長く続くことを願う」と述べた。

最後にJOCAの大家正明事務局長は、「復興支援と地域活性化への対応は日本とアフリカの共通課題。違った価値観から生まれるアイデアを共有することは今の日本には必要だ。7人の活動が、日本の地域社会でのアフリカのイメージを大きく変えたことも非常に大きな成果であった。資金やモノの協力だけでなく、直接的な人による人への協力が、今こそアフリカと日本双方に必要であり、当プログラムによってこれが実証できたことを強調したい」と総括した。

最高の評価を挙げた。特に、明るさと積極性を忘れることなく、日本にとけ込もうとする彼らの努力は、地域の人々の印象に深く残ったようだ。

最後にJOCAの大家正明事務局長は、「復興支援と地域活性化への対応は日本とアフリカの共通課題。違った価値観から生まれるアイデアを共有することは今の日本には必要だ。7人の活動が、日本の地域社会でのアフリカのイメージを大きく変えたことも非常に大きな成果であった。資金やモノの協力だけでなく、直接的な人による人への協力が、今こそアフリカと日本双方に必要であり、当プログラムによってこれが実証できたことを強調したい」と総括した。

職種の応募状況をみると、応募者が最も多かったのは「青少年活動」の226人、続いて「コミュニティ開発」の182人で、この2職種だけで全応募者の約28%を占めた。また、今回倍率が高かったのは「歯科衛生士」9倍、「番組制作」5倍、「青少年活動」4・7倍、「ハンドボール」4倍、「防災・災害対策」3・8倍続いた。

一方、応募者がゼロだったのは20職種あり、特に上下水道などの公共・公益事業部門と農林水産部門が目立った。

募集期間中、全国で125回開催された「体験談&説明会」には6226名が参加した。

一次選考の合格発表は6月20日、6月28日〜7月12日の二次選考は、東京のほか、名古屋、神戸、北九州でも実施される。最終合格は8月7日に発表される。

TICAD V
公式サイドイベント
アフリカからボランティアが来た！
日本・アフリカ双方向型ボランティア事業をアピール



岩手県でのボランティア活動について発表するアフリカ青年たち

青年海外協力隊 平成25年度春募集 応募者数は回復傾向

平成25年度春募集が5月13日で締め切られ、全110職種1422件の要請（5月23日現在）に対し、1472名の応募があった。今回はわずかながら応募者数が要請数を上回り、前回の秋募集と比べると348名増加した。

職種の応募状況をみると、応募者が最も多かったのは「青少年活動」の226人、続いて「コミュニティ開発」の182人で、この2職種だけで全応募者の約28%を占めた。また、今回倍率が高かったのは「歯科衛生士」9倍、「番組制作」5倍、「青少年活動」4・7倍、「ハンドボール」4倍、「防災・災害対策」3・8倍続いた。

一方、応募者がゼロだったのは20職種あり、特に上下水道などの公共・公益事業部門と農林水産部門が目立った。

募集期間中、全国で125回開催された「体験談&説明会」には6226名が参加した。

一次選考の合格発表は6月20日、6月28日〜7月12日の二次選考は、東京のほか、名古屋、神戸、北九州でも実施される。最終合格は8月7日に発表される。

■都道府県応募者数

都道府県	応募者数	都道府県	応募者数
北海道	58	滋賀県	22
青森県	2	京都府	46
岩手県	4	大阪府	115
宮城県	30	兵庫県	56
秋田県	6	奈良県	18
山形県	6	和歌山県	4
福島県	11	鳥取県	8
茨城県	24	島根県	5
栃木県	15	岡山県	14
群馬県	8	広島県	31
埼玉県	57	山口県	11
千葉県	80	徳島県	3
東京都	271	香川県	9
神奈川県	142	愛媛県	12
新潟県	14	高知県	0
富山県	8	福岡県	63
石川県	11	佐賀県	5
福井県	10	長崎県	7
山梨県	8	熊本県	7
長野県	28	大分県	11
岐阜県	23	宮崎県	13
静岡県	39	鹿児島県	15
愛知県	82	沖縄県	26
三重県	14	海外	20
合計	1472		

(平成25年5月23日現在)

■平成25年度春募集 職種別の要請件数と応募者数

職種名	要請数	応募者数	職種名	要請数	応募者数
コミュニティ開発	79	182	建設機械	1	2
行政サービス	10	15	船舶機関	1	0
防災・災害対策	5	19	自動車整備	37	13
環境行政	2	2	木工	11	3
コンピュータ技術	26	20	食品加工	1	0
計画・行政部門計	122	238	陶磁器	3	2
水質検査	4	4	輸工業部門計	87	28
上水道	1	1	電力	1	2
下水道	1	1	エネルギー部門計	1	2
土木	15	1	経営管理	2	1
水資源開発	1	0	品質管理	1	1
都市計画	1	0	マーケティング	4	7
福島県	3	3	観光	13	36
建築	2	6	商業・観光部門計	20	45
測量	1	0	青少年活動	48	226
番組制作	1	5	環境教育	57	97
公共・公益事業部門計	30	19	陸上競技	1	0
稲作栽培	6	5	体操競技	1	3
花き栽培	2	0	水泳	2	2
野菜栽培	38	21	テニス	1	1
果樹栽培	3	1	卓球	2	7
きのこ栽培	1	0	バドミントン	1	1
病虫害対策	1	1	バレーボール	6	3
土壌肥料	4	0	バスケットボール	2	5
農業土木	2	0	ハンドボール	1	4
農業機械	1	1	サッカー	3	7
農産物加工	4	1	柔道	10	6
家畜飼育	21	2	空手道	5	2
家畜衛生	8	5	ラグビー	1	3
林業・森林保全	4	12	PCインストラクター	58	54
水産開発	2	0	視聴覚教育	2	0
養殖	10	2	音楽	23	17
水産加工	1	1	美術	6	15
農林水産部門計	108	52	教育行政・学校運営	2	7
金属加工	1	1	日本語教育	43	88
溶接	6	0	理科教育	120	41
工作機械	6	1	数学教育	38	13
冷凍機器・空調	2	2	体育	47	45
電気・電子機器	7	4	小学校教育	192	109
電気・電子設備	11	2	幼児教育	46	16
合計	1422	1472			

(平成25年5月23日現在)